

Imaging Team

掲載内容

1) **社名変更につきまして**

2010年3月1日より会社名が「日本モレキュラーデバイス株式会社」から「モレキュラーデバイスジャパン株式会社」になりました。

2) **Meta Imaging Series 最新情報**

Meta Imaging Series バージョン 7.7.0 がリリースされました。

MetaVue にカメラドライバ込みのエントリーパッケージを用意しました。

3) **価格情報**

2010年4月1日からの新価格が適応になります。

4) **訂正とお詫び**

前回のSales Note-FY1002でLED励起光源CoolLEDの当時点灯につきましての記載を訂正いたします。

1) 社名変更につきまして

2010年3月1日より会社名が「モレキュラーデバイスジャパン株式会社」になりました。

(旧社名 日本モレキュラーデバイス株式会社)

名称は変わりますが、事業内容に変更はなく、従来と同じ組織で営業活動と業務を継続させていただきます。



2) Meta Imaging Series 最新情報

Meta Imaging Series バージョン 7.7.0 がリリースされました。



MM770-32.zip、MM770-64.zip が当社ウェブ上からダウンロードすることができますので、バージョン 7 をご使用で、メンテナンス期間が有効な ID 番号のソフトウェアはバージョン 7.7.0 にアップデートすることができます。

MM770-32.zip、MM770-64.zip ファイルのダウンロードは
<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/index.php>

から、ID 番号を入力して **Version 7.7** を選択してください。その後、MM770-32.zip または MM770-64.zip をクリックしていただきますとファイルのダウンロードができます。

※32ビット OS をご使用の場合は、MM770-32.zip になります。

※64ビット OS をご使用の場合は、MM770-64.zip になります。

ダウンロード後は、通常のアップデート同様に行うことができます。

http://www.nihonmdc.com/pages/UIC/Metalmagingsystem_manual_for_web/manual/pdf/install_hardware/Meta71_update.pdf

から確認できます **Meta Imaging Series Version 7.5 アップデート手順書**同様の作業になります。

主な変更点は下記になります。

- ・ Andor 社製 CCD カメラドライバ修正しました。
興味領域画像取得の位置修正
- ・ 浜松ホトニクス社製 DCAM-API December, 2009 対応しました。
- ・ オリンパス社製 CCD カメラドライバ修正しました。
DP70, DP71, DP72, DP30BW 使用時のソフトウェア起動時のエラーメッセージ表示を出さないように修正
- ・ Q Imaging 社 CCD カメラドライバ修正しました。
MicroPublisher5.0 使用時における Autoexpose の修正
- ・ CoolLED pE-1, pE-2 の同時点灯モード対応しました。
USB 接続のみで 2 波長、3 波長 LED の同時点灯が可能になります。
(CoolLED のファームウェア 1.8.1 以上が必要)
- ・ LCI Chamlide の現在温度表示で“°C”を C に変更しました。
- ・ ライカ顕微鏡 DM6000 FS Stand, DM5500 Stand 対応しました。
- ・ Ludl 社ピエゾ Z モジュール 73005063 に対応しました。
- ・ Objective Imaging OASIS Blue コントローラに対応しました。
- ・ Autoexpose アルゴリズムを改良しました。
- ・ AQI 3D デコンボリューションを改良しました。
- ・ 画像上に興味領域を作成するとき、Ctrl キーを押しますと、興味領域を作成できなくなり、他の領域を移動することができます。
- ・ IMA(Integrated Morphometry Analysis)を改良しました。
- ・ MDA(Multi Dimensional Acquisition)の Stream で画像取得中に画像表示できるようになりました。
- ・ 同時に異なる設定の MDA タイムラプス画像取得が可能になりました。(Simultaneous Timelapse)
- ・ Montage Stack でシングルプレーン画像の選択ができるようになりました。
- ・ Multi Dimensional Motion Analysis を改良しました。
- ・ オリンパス社 OIB 画像読みだしで色情報を修正しました。
- ・ オリンパス社 OIF 画像読み出しで 999 より多いタイムポイント画像に対応しました。
- ・ オリンパス社 FSX 画像に対応しました。
- ・ Zeiss 社 LSM710 画像に対応しました。
- ・ OptiGrid でデフォルトのフェイズ数を 3 から 4 に変更しました。
- ・ Review Multi Dimensional Data での Run Journal で長いジャーナルファイル名を表示できるようになりました。

詳細は

<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/index.php>

から ID 番号を入力してご覧ください。

MetaVue にカメラドライバ込みのエントリーパッケージを用意しました。

5005088 MetaVue/CCD エントリーパッケージソフトウェア(画像重ね合わせ機能含む)

をラインナップに加えました。

定価¥400,000-(税別)になります。

MetaVue と CCD カメラドライバを組み合わせた、非常にリーズナブルなパッケージになります。

後に MetaMorph へのアップグレード※1 も可能になります。

CCD カメラドライバは **40004 Princeton Instruments, 40052 Photometrics, 40065 Q Imaging, 40095 Hamamatsu DCAM, 40134 Andor, 40136 Olympus, 40173 Leica** のいずれか 1 つを発注時に指定していただくことになります。

※1 5005088 MetaVue/CCD エントリーパッケージソフトウェアから MetaMorph へのアップグレードは、従来の 31271 MetaVue から MetaMorph Basic へのアップグレードではなく、

31271-S 5005088 MetaVue から MetaMorph Basic へのアップグレード¥950,000-(税別)

が適用になりますのでご注意ください。

3) 価格情報

2010 年 4 月 1 日から新価格が適応になります。

新価格表ができあがり次第お知らせすることになります。

詳細につきましては当社担当営業までご連絡ください。

4) 訂正とお詫び

前回の Sales Note-FY1002 で LED 励起光源 CoolLED の当時点灯につきまして下記の記載がありました。

MetaMorph での同時励起を行う場合は USB ケーブルの他にパラレルポート用 TTL シャッター制御ケーブル(定価 30,000 円)が必要となります。

バージョン 7.7.0 から USB 接続のみの場合でも、同時点灯が可能になりました。そのため、パラレルポート用 TTL シャッター制御ケーブルがなくても可能になります。

※バージョン 7.6.5 以下の場合、上記パラレルポート用 TTL シャッター制御ケーブルが必要になります。

また、パラレルポート用 TTL シャッター制御ケーブル(定価 30,000 円)と記載しておりましたが、金額に間違いがありました。

定価 ¥30,000-ではなく、**定価 ¥50,000-(税別)**になります。

訂正およびお詫びさせていただきます。